

2026 年 8 月 14 日

カーボンブラック協会

2026 年 カーボンブラック需要年央見直し

内閣府 7 月下旬発表の月例経済報告の基調判断は、3 月から 6 月と同様に、「景気は緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を引き続き注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。」としている。

このような経済環境の中で、カーボンブラック需要の 7 割を占める自動車タイヤ需要について（一社）日本自動車タイヤ協会が、7 月中旬に需要年央見直しを公表した。

これによると、自動車生産は前年比 0.3%増（年初見通し比 2.2%増）、タイヤの国内需要本数見通しは前年比 1.6%減、年初見通し比 1.0%増となっている。

自動車生産の上期実績見込みは前年比 3.0%程度増（当会推測）と、内外の不安定な環境を克服している結果であるが、自動車タイヤ協会見直し台数から上期実績見込みを減じた自動車の下期生産は前年比約 2%強減少することになる。

これらに伴い、新ゴム消費量も、年初比減少する可能性はあるが、当協会が独自に予測したところでは、ゴム用全体の新ゴム消費量は前年比 0.7%減に納まると前提した。

タイヤ以外の一般ゴム用新ゴム消費量は、上期は自動車生産の増加効果のみならず、自動車以外の工業用品向けも前年比プラスで推移している。

主に以上のことより、当協会は、カーボンブラックの輸出入の状況、非ゴム向け需要動向を加味して 2026 年のカーボンブラック需要の見直しを行った。米中摩擦、米国関税、中東情勢、令和 8 年熊本地震の影響などの懸念点は多くあるものの、カーボンブラック総需要は、前述の通り下期の弱含みを加味し、通期ではタイヤ向け前年比 1.3%減、タイヤ以外の一般ゴム向け前年比 1.6%増、ゴム用内需計 前年比 0.6%減、非ゴム・輸出を含めた総需要は、前年比 0.4%増、年初見通し比±0%の 655,800 トンとした。

なお、「年央見通しの指標」については添付資料の【表 1】を、「カーボンブラック需要年央見直し」については同【表 2】、「輸入動向年央見直し」については【表 3】を夫々参照願う。

以上

【表 1】 2026年 年央需要見直しの指標

	2025年 実績		2026年 年初見通し		2026年 年央見直し	
	数 量	前年比	数 量	前年比	数 量	前年比
日本自動車タイヤ協会			2025年12月16日発表		7月14日発表	
自動車生産 (千台)	8,410	102.1%	8,253	98.9%	8,437	100.3%
自動車タイヤ国内需要 (千本)	105,409	102.3%	102,630	98.0%	103,670	98.4%
日本ゴム工業会	4月3日発表		1月23日発表		4月3日発表	
タイヤゴム消費 (トン)	933,240	100.8%	923,450	98.2%	916,440	98.2%
一般ゴム消費 (トン)	234,360	101.3%	239,850	101.6%	237,860	101.5%
新ゴム消費量 計 (トン)	1,167,600	100.9%	1,163,300	98.9%	1,154,300	98.9%
	4月3日発表		4月3日発表		今回CB協会推定	
タイヤゴム消費 (トン)	933,240	100.8%	916,440	98.2%	921,000	98.7%
一般ゴム消費 (トン)	234,360	101.3%	237,860	101.5%	238,000	101.6%
新ゴム消費量 計 (トン)	1,167,600	100.9%	1,154,300	98.9%	1,159,000	99.3%

【表 2】 2026年 カーボンブラック需要 年央見直し

数量単位：トン

	2025年 実績		2026年 年初見通し		2026年 年央見直し	
	数 量	前年比	数 量	前年比	数 量	前年比
タイヤ	432,575	102.0%	429,100	99.2%	426,950	98.7%
一般ゴム	134,531	102.0%	136,700	101.6%	136,650	101.6%
ゴム用計	567,106	102.0%	565,800	99.8%	563,600	99.4%
非ゴム	38,333	102.2%	41,000	107.0%	40,200	104.9%
内需計	605,439	100.0%	606,800	100.2%	603,800	99.7%
輸出	47,890	96.8%	49,000	102.3%	52,000	108.6%
[内ゴム用計]	11,299	91.1%	12,000	106.2%	12,000	106.2%
総需要	653,329	101.6%	655,800	100.4%	655,800	100.4%
[内ゴム用計]	578,405	101.8%	577,800	99.9%	575,600	99.5%

需要量はカーボンブラック協会による想定値

【表 3】 2026年 カーボンブラック輸入動向

数量単位：トン

	2025年 実績		2026年 年初見通し		2026年 年央見直し	
	数 量	前年比	数 量	前年比	数 量	前年比
ゴム用	111,601	113.6%	108,000	98.5%	126,000	116.7%
非ゴム用	9,955	99.0%	12,000	101.0%	10,000	83.3%
合計	121,556	112.3%	120,000	98.7%	136,000	113.3%

ゴム用/非ゴム用の内訳はカーボンブラック協会の想定数量

以上